専門教育科目　講義科目

科目名：	経営学入門	科目コード	HH33
科目主査：	松本 久良　　担当講師：川並 剛、曽我 知子、竹元 雅彦、田中 秀一、内藤 英俊、松本 久良、宮本 博文	単位	2
		配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☐ あり ☑ なし	個人ワーク： ☐ あり ☑ なし

本科目では経営学の基本的事項を中心に学習します。とくに経営学を初めて学ぶ学生が、今後さまざまな科目を学習する上で役立つような知識を修得することを主たる目的とします。そのためには、まず経営学が研究の対象とする企業について理解することが不可欠になります。
企業とは何かという基本的な問いから始め、企業の仕組み、そして企業のさまざまな活動について、実際の企業の活動を踏まえつつ体系的に学習します。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、質問できるようにしておいてください。	
テキスト	『経営学を楽しく学ぶＶｅｒ．４』, 齋藤 毅憲 編著, 中央経済社, 最新版	

この科目の 到達目標	①経営学の考察対象である企業について、そのさまざまな活動内容や諸特性について理解し、そうした知識を社会生活や実践に役立つものにできる。 ②経営学の理論や特性を理解するだけでなく、それを応用できる能力を身に付け、今後経営学のさまざまな分野を学習する際の糧とすることができる。
成績評価 の 方 法	「出席状況(提出課題を含む)」30%、「最終試験」70%とします。詳細は下記を参照してください。また、その他の材料を評価に含める場合など、詳細については担当教員からの説明に従ってください。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	本科目では、経営学を学ぶ上で最も重要な企業という組織について多面的に学習しました。そして、経営学は実学と言われますので、学んだ知識を実践の場に移しうる能力へと変換しなくてはなりません。今後は、さまざまな媒体を通して、日常的に企業の動きに経営という視点から注目するようにしてください。企業以外の組織でもかまいません。企業という存在を意識することを習慣化することで、現実の企業を分析できる能力を養ってください。
事後学習の 参考文献	『1からの経営学(第3版)』 加護野 忠男/吉村 典久, 碩学舎, 2021年 『経営学入門 上・下(第2版)』 榊原清則, 日本経済新聞出版社, 2013年 『企業論(第4版)』 三戸 浩/池内 秀己/勝部 伸夫, 有斐閣アルマ, 2018年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。